

分担金・拠出金の名称	中央緊急対応基金(CERF)拠出金	評価	B
拠出先の国際機関名	中央緊急対応基金(CERF)		
国際機関の概要	国連人道支援改革の一環として設置されたものであり、(1)突発的な大規模災害・紛争発生時に緊急人道支援に関する初動財源を確保することにより、被害の拡大を最小限にとどめること、及び(2)「忘れられた危機」への対応を可能にすることを主な目的としている。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
<p>1. (1) 成果目標: CERFへの拠出を通じて、我が国の重要外交政策の推進を促進する。また、人道支援の効果的な実施に向け、主要国との政策協調を図る。</p> <p>活動指標: 我が国の重要外交政策(人道支援、人間の安全保障の推進)への貢献、主要国との政策協調への貢献</p>		<p>・CERFは、(1)大規模な災害や紛争の発生直後に、緊急人道支援の初動財源を確保し、ドナー等からの資金が集まるまでの空白期間を埋め被害の拡大を最小限にするとともに、(2)注目が集まらない資金不足の人道状況への対応を可能にし、被災した人々がその生存に不可欠なニーズを満たすための資金を提供しており、我が国が重視する人間の安全保障の推進や効果的な人道支援の実施に貢献。</p> <p>・CERFへの拠出は、効率的・効果的に人道支援を提供するために国連を中心に進められている人道支援体制の改革そのものへのコミットと受け取られており、欧米諸国のみならず、新興ドナーや小国も拠出を確保している。CERFは2014年に南スーダン難民支援や中南米で発生した干ばつ等に迅速に資金を割り当てるなど、人道支援の迅速・柔軟な実施に極めて有効な手段として評価された。人道ニーズへの迅速・柔軟な対応が国連や主要ドナー、NGO等の人道支援関係者の間で大きな課題となっているところ、CERFへの我が国拠出は右への具体的貢献と受け止められており、その重要性が指摘されるなど、我が国が主要国との政策協調を図る上でも効果をあげている。</p>	
<p>(2) 成果目標: CERFにおける我が国の発言力を確保する</p> <p>活動指標: OCHA(国連人道問題調整事務所)ドナー・サポート・グループ会合やプール基金作業部会等における意見交換(注: CERFは国連事務局内のOCHAが管理している)</p>		<p>・我が国は、CERFを管理しているOCHAのドナー・サポート・グループ会合(毎年のハイレベル年次会合及びNY・寿府における2ヶ月毎の実務者会合)及びプール基金への拠出国がOCHAとの間で開催するプール基金作業部会のメンバーであり、これらの会合を通じてCERFの運用に対する発言力・影響力を確保している。また、OCHAのハイレベルとの意見交換等を通じて我が国意見を反映させている。</p>	
<p>(3) 成果目標: 効率的な組織・財政管理の実現</p> <p>活動指標: 具体的な資金運営改善措置の導入</p>		<p>・CERFは、設立後1年目、2年目、5年目にパフォーマンス評価を実施したほか、各種外部評価を実施。評価結果を踏まえ、パフォーマンス及び説明責任に関する枠組を策定し、透明性の向上に努めている。</p> <p>・申請から拠出までの期間短縮、被災者やNGO等への説明責任の強化、各国の人道調整官が提出する年次活動報告の作成プロセスの見直し等を通じ、効率的な資金運営に取り組んでいる。</p>	
<p>(4) 成果目標: 邦人職員増強を図る</p> <p>活動指標: 邦人職員の強化への取組(注: CERFは国連事務局内のOCHAが管理している)</p>		<p>・CERFを管理するOCHAの日本人職員数(専門職以上)は、2012年の9人から、2013年に10人、2014年には11人に増加。</p> <p>・OCHAは、2013年及び2014年に日本に派遣された国連主催の国際機関合同アウトリーチミッションに参加するなど、邦人職員増強に向けた具体的取組を実施。</p>	
2. PDCAサイクルの確保		<p>①計画段階(Plan): 我が国の関連政策(「経済財政運営と改革の基本方針2014について」)や国連統一アピール等に照らしつつ、予算要求。</p> <p>②実施段階(Do): 予算拠出。国連から派遣された人道調整官が各人道支援機関間の優先事項を調整し、OCHA本部に申請。案件審査を経て、各事業への拠出が決定。OCHAドナー・サポート・グループ会合、プール基金作業部会等を通じて、CERFの活動をモニタリング。</p> <p>③評価段階(Check): 人道調整官が作成する年次活動報告書、CERF年次報告書等により成果を評価。</p> <p>④フォローアップ(Act): CERF諮問委員会(年2回)やOCHAドナー・サポート・グループ会合、プール基金作業部会等の助言・提言を踏まえ、必要に応じ改善を図る。</p>	
担当課・室名	国際協力局 緊急・人道支援課		